

本山振興株式会社の「SDGs宣言書」の策定支援について

株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）では、「77SDGs支援サービス」を通じて、本山振興株式会社（以下、「当社」といいます。）の「SDGs宣言書」の策定を支援いたしましたので、下記のとおりお知らせします。

当行は、持続可能な社会の実現に向け、地域金融機関として企業の「SDGs」への取り組みを支援してまいります。

記

企業名	所在地	事業内容
本山振興株式会社 (代表取締役 本山 耕三)	宮城県仙台市青葉区昭和町6-10	建設業

（企業概要）

当社は「地球にやさしく 確かな技術で信頼に応える環境創造企業」をスローガンに、空調衛生設備工事、水道施設土木工事、電気制御盤計装工事、製紙工場向け機械プラント工事等をとおして蓄積された技術ノウハウを基に、人類の永遠のテーマである快適な生活環境、機能的な省エネルギー産業環境の実現を追及しています。

品質の高いインフラ工事により人びとへ快適な生活環境を提供する他、省エネに特化した機械プラント工事等によりお客さまのCO2削減にも貢献しています。品質の高さの証として、ISO9001認証取得の他、仙台市優良建設工事表彰を連続受賞しています。

また、「Safe Work 向上宣言」を掲げ、当社の社員の労働安全性に対する意識を向上させるとともに、男女問わず働きやすい環境づくりを行っています。

今後も環境負荷を減らす取り組みを通じ、持続可能な地域社会の実現に貢献します。

注. 当社の「SDGs宣言書」については、別紙のとおりです。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと、169のターゲットから構成されています。

七十七グループは2020年7月に「七十七グループのSDGs宣言～もっと、ずっと、地域と共に。～」を表明し、SDGsに対する取り組みを更に強化するため、2021年10月に「SDGs実践計画」を策定しました。



SDGs宣言書

本山振興株式会社
2022年3月10日

当社は七十七銀行のSDGs診断により「プラチナSDGs」のランクを取得しました。
SDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた取組を下記のとおり宣言します。

取組 カテゴリ	SDGs達成に向けた 重点的な取組テーマ	取り組みの内容	関連が強い SDGsゴール
環境	自然資本 CO2削減 3 Rの推進	「環境創造企業」の理念のもと、事業を通じて「快適な生活環境」と「機能的な省エネルギー産業環境」の実現に貢献します。 ・空調衛生設備工事、水道施設土木工事等をおとし、人びとの快適な住生活環境確保に貢献。 ・ISO9001を取得し、品質の高いサービスを提供。 ・製紙工場向けに蒸気の熱効率を高める「ドレネージ装置」を導入し、CO2削減量を調査、報告。目に見える形でお客さまの省エネに貢献。 ・環境認証「みちのくEMS」取得済。社内における電気・水道使用量や温室効果ガス排出量の報告を毎年実施。 建設リサイクル法を遵守し、再生資源のリサイクルと廃棄物の適切な処理を行います。 ・産業廃棄物排出量の記録、報告。 ・法令を遵守し、品質の高い工事を行った証として仙台市建設局、水道局、ガス局を合わせ、※優良建設工事表彰を9年連続で受賞。 ※優良建設工事表彰 建設関連業務の品質向上及び発展を目的とした、業務成績が特に優れ且つ他の模範となる企業を市が表彰する制度。仙台市発注の工事成績評定点の上位企業が対象。	    
社会貢献・ 地域貢献	持続可能な地域づくり	地域との連携を密にし、地域社会とのリレーションを強化します。 ・インフラ整備を通じ、地域社会の持続に必須な水・空気の提供に貢献。東日本大震災の際には、発生翌日から仙台市水道局の応急給水、復旧作業に従事。 ・ダムや仙台市内保育所の整備清掃ボランティア活動、水資源にまつわるレクリエーションイベントに参加。	   
人権・労働	労働環境の整備 ダイバーシティ	労働環境の保護と労災防止を徹底します。 ・※「Safe Work 向上宣言」を掲げ、労災防止の重要性を社員へ周知徹底。 ・工事現場での男女別トイレの設置。 ・定期的な健康診断の実施。 ・産休、介護休暇の取得促進。 ※「Safe Work 向上宣言」 宮城労働局が運営する労働災害防止の意思表示であり、ゼロ災の気運醸成に寄与するもの。	    

SDGs (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標) は、持続可能な開発のために国連が定めた国際目標です。2030年までに世界において解決すべき17のゴールを定めています。SDGsは、2030年の未来の「あるべき姿」もしくは私たちが直面している社会課題が、分かりやすく・バランス良く「見える化」されたものであり、企業がその経営や未来の姿を検討する際に役立つツールと言えます。

	貧困をなくそう		飢餓をゼロに		全ての人の健康と福祉を		質の高い教育をみんなに		ジェンダー平等の実現		安全な水とトイレを世界中に
	エネルギーをみんなに そしてクリーンに		働きがいも 経済成長も		産業と技術 革新の基盤 をつくろう		人や国の不 平等をなく そう		住み続けら れるまちづ くりを		つくる責任 つかう責任
	気候変動に 具体的な対 策を		海の豊かさ を守ろう		陸の豊かさ も守ろう		平和と公正 をすべての 人に		パートナー シップで目 標を達成し よう		